

統一以来、毎年度黒字が出ており、基金が約10億円と国の基準の2・5倍にもなっており、保険料の引き下げを求めてきたが、極めて消極的な姿勢を崩していない。極めて市民生活に冷たい予算であると考えられることから、反対する。

賛成討論 国保財政は、単年度の状況により、市民負担を上げたり下げたりするものではなく、中長期的視点に立って、また、広域化の動きなど国の動向なども注視した上で、より安定した運営を心がけることが大切である。先の12月定例会において、国保保険税の引き下げの請願を議会として不採択と決したもので、再提案された本特別会計予算も議会の意志を尊重して編成されたと思う。予算編成の不手際を率直に認め、議会の声に耳を傾け再提案された本特別会計予算を評価し、賛成する。

陳情第44号 市立病院・診療所改革プランの全面撤回に係る陳情

「特別委員会の審査結果」「不採択」に対する討論

反対討論 診療所休床化

の凍結・水沢病院の見直し等、全てに渡って奥州市全体の医療体制の確立について議論すべきだと思う。改革プランを白紙に戻して、市民の意見も踏まえた議論をしながら策定した方がいいのではないかと。改革プランは必要だと思いが、住民意見を反映させる手法が必要であることから、原案に賛成し委員長報告に反対する。

賛成討論 改革プランについては十分に調査をし、住民のいろいろな意見がある中で市長が判断し、改革プランの訂正又は凍結しながらも、医療改革を今進めなければならぬというところで決定をされた。改革プランの全てを全面撤回するようという内容は、乱暴ではないか。改革の姿勢を持つ市長の行動に対して、賛意を持つものであり、原案に反対し委員長報告に賛成する。

議案第1号 平成25年度奥州市一般会計補正予算（第10号）

反対討論 久田前田中線の整備事業は、現在の財政状況の中で急いで進める必要性について疑問があることから、反対する。

特別委員会報告

競馬事業調査特別委員会

2月18日の委員会では、市長及び担当職員が出席し、「岩手競馬の平成25年度収支見通しについて」「平成26年度事業計画について」を調査しました。

平成26年度は岩手競馬50周年の節目の年となるため、全国からの東日本大震災の復興支援に感謝して、競馬ファンに岩手競馬の魅力あるレースを全力で提供していき、将来にわたる安定的な事業運営が確かなものになるよう取り組みを進めていくとのことでした。

これまでの調査活動を報告書として総括し、これをもつて当特別委員会の調査を終了することとしました。

売上額が年々減少し大

変厳しい状況である中、岩手競馬の健全経営に向けた組合改革の動向を注視しその実効性を検証していくため、平成22年6月に当特別委員会を設置しました。延べ16回にわたり、競馬事業に関する調査・検討を行いながら、岩手競馬存続に向けた提案や支援を行ってきました。

平成23年3月の東日本大震災の発生により水沢競馬場は施設損壊など大きな被害を受け、3・4階の破損が大きく、3月



馬手岩をなぐ夢をつなぐ。を絆を

19日から予定していた特別開催を中止するなど平成22年度の経営状況に大きな影響を与えることになりました。

平成23年度は施設の復旧にも目途が立ち、発売額が半減程度の収支均衡の見通しを立てることにより、予定どおり開催することになりました。前年度の発売額までは届かず、震災の影響等その後の動向がはっきり見通せない状況でありました。

平成23年12月には、水沢競馬場の震災後における厩舎経営の現状と今後の見通しについて水沢競馬場の「調騎会」の方に出席いただき調査いたしました。

平成24年度は、賞典費水準の向上や重賞レースの拡充、JRAとの相互発売に向けた戦略的な取り組みなど、「岩手競馬の再生基本方針」を掲げた事業展開を確認いたしました。

平成25年度の調査では、IPAT発売が好調なこともあり当期利益の上方修正を行うなど好調に推移してまいりました。

堅調な経営が続く現状に鑑み、当特別委員会も所期の目的を達成したものと判断されることから当特別委員会としての調査を終了することとしました。

東日本大震災調査特別委員会

2月17日の委員会では、市長及び担当部長が出席し、「放射能汚染廃棄物処理加速化事業に係る前処理施設設置の進捗状況について」「共同仮置場設置に係る進捗状況について」を調査しました。

また、放射能汚染について迅速な対策を要望するため、国に対する意見書の提出について協議いたしました。

これまでの調査活動を